

1975・7・31

東京蜘蛛談話会

5月18日に行なわれた採集観察会には、15名の参加者があり、ス々の催してしたが、十分な成果が上りました。前日は大雨で、雨天決行とはいたしたもの、どうなることかと思っておりましたが、当日はよい天気で、一日中、雲は気にしなくてすみました。伊七原の駅には、背広姿の萱嶋先生が現われ、びっくりすると、用事があるのだが、皆に会っておきたくてとのこと、わざわざ時間をさいて来て下さいました。また、発車寸前のバスに乗って来られた佐藤さんは、療養後、はじめての野外活動で、クモの観察なら、走ったり、長く歩いたりしないので、大丈夫ということで参加して下さいました。仕事の忙し中をいつも来て下さる古沢氏、当日、会員になった新井明久氏、道案内をして下さった鹿泉の上選恭子・仲秋恵子両嬢、ササウ会から、鈴木忠一・佐藤有程両氏、そして、新井進、佐久間良三・小野展嗣・高橋登・熊田憲一・新海栄一・栗原輝代子・松本誠治とで、ヒジリ峰に向って、足はグラグラと、眼はランランとして探蛛行。「すぐですよ」というのになかなか頂上へ行けず、途中で昼食。なんとか頂上へついて、記念写真を撮って、帰途につききました。クモの方の収穫は70種程でした。KISHIDAIAに発表する予定です。(松本)

クモによる占い

平凡社の世界大百科の「タナバタ」の項をみると、七夕の行事は六朝のころすでにあった。五色の糸を針に通し、瓜果を庭に並べて祭り、また瓜の上にクモが糸をはれば、巧を得たとする習俗がみえる。唐では宮人は黄金の箱にクモを入れ翌朝、糸のはり方によって、巧の多少を判断した、というようなことが書いてありました。

(松本)

新井進氏より便り。

「先月5月18日に行なわれた観察採集会には、私にとって採集するクモは全てといてよいほどはじめてのものばかりで、たいへん参考になりました。—中略—

これから私がやりたい観察は、ジグモの住居のことで、大きいビンに石コウを3分の2ほど入れ、そこに大小さまざまな穴を明け、ジグモが成長するにしたがって住居をかえるかということですが、もし、この実験を行なった人がいたらその実験結果をききたいと思います。」

佐久間良三氏より便り。

「15日の例会は大変勉強になりました。今後とも何回か集まって意見交換をおる事は必要だと思えます。ところで、例会の時に私が話しました「ハエトリクモの眼の働き」についてですが、文献がわかりましたので、ここに紹介しておきます。

M.F.Land (1971) Orientation by jumping spiders in the absence of visual feedback. *J. exp. Biol.*, 54: 119.

Land氏の文献が下記の雑誌に引用されております。

山口恒夫・岡田美徳 (1972) 節足動物における動視反応と定位運動の制御. 日本ME学会雑誌「医用電子と生体工学」10(2): 77-85.」

佐久間氏の紹介されたM.F.Landの文献他に2篇あるとのこと。佐久間氏は省略はすといわれませんでした。題名不明のものもありそうですか、……

M.F.Land (1969) Movements of the Retinae of Jumping Spiders in Response to Visual Stimuli. *J. exp. Biol.*, 51: 471.

もう1篇が *J. exp. Biol.* 51: 443.

(1969) にあります。(松本)

6月15日には、いこの目黒区大橋区民会館で例会を開催された。出席者は以下の方々

榎原輝代子・松井均・小野展嗣・中野慶一・高橋登・高野伸二

51年度(の選出。2)統一-7-21=27の意見交換。3)交換・毎週図書の見学

佐藤幸子・嶋田豊一・新海栄一・高橋登・高野伸二

あり、その決定は、たすかした。2年間といふ任期は短か過ぎた。2年間といふ任期は短か過ぎた

自己紹介を含めて、一人一話といふこと。話をしなさい。席順にすすめて行きなさい

か。それより下記の通りに決まりし

松井氏の「ツツハ」の神金関係の話や、高橋先生の「IDA」からエントは

か。それより下記の通りに決まりし

1) 世界での探検品カクツク77の回覧、栗原氏・田中理恵氏の生態観察の話(それより大変な努力を知られた

か。それより下記の通りに決まりし

2) 梅林氏の「ハエ」77を7種類に分類した。梅林氏の「ハエ」77を7種類に

か。それより下記の通りに決まりし

氏の見学から「ツツハ」の話、佐久間氏の文庫の紹介、たす、多岐多岐の話

か。それより下記の通りに決まりし

高橋登氏は「ツツハ」77に専念して、い3797の「ツツハ」を新海氏に77の卵の「ツツハ」をい3797の「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

した。高橋先生は「ツツハ」Psychéの紹介をして下さり、高野氏は「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

を「ツツハ」に必要があり、高野氏は「ツツハ」の紹介をして下さり、高野氏は「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

高橋登氏は「ツツハ」77に専念して、い3797の「ツツハ」を新海氏に77の卵の「ツツハ」をい3797の「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

した。高橋先生は「ツツハ」Psychéの紹介をして下さり、高野氏は「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

高橋登氏は「ツツハ」77に専念して、い3797の「ツツハ」を新海氏に77の卵の「ツツハ」をい3797の「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

した。高橋先生は「ツツハ」Psychéの紹介をして下さり、高野氏は「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

高橋登氏は「ツツハ」77に専念して、い3797の「ツツハ」を新海氏に77の卵の「ツツハ」をい3797の「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

した。高橋先生は「ツツハ」Psychéの紹介をして下さり、高野氏は「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

高橋登氏は「ツツハ」77に専念して、い3797の「ツツハ」を新海氏に77の卵の「ツツハ」をい3797の「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

した。高橋先生は「ツツハ」Psychéの紹介をして下さり、高野氏は「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

高橋登氏は「ツツハ」77に専念して、い3797の「ツツハ」を新海氏に77の卵の「ツツハ」をい3797の「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

した。高橋先生は「ツツハ」Psychéの紹介をして下さり、高野氏は「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

高橋登氏は「ツツハ」77に専念して、い3797の「ツツハ」を新海氏に77の卵の「ツツハ」をい3797の「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

した。高橋先生は「ツツハ」Psychéの紹介をして下さり、高野氏は「ツツハ」

か。それより下記の通りに決まりし

高橋登氏は「ツツハ」77に専念して、い3797の「ツツハ」を新海氏に77の卵の「ツツハ」をい3797の「ツツハ」

なお、議題には出ていないがたの7才が
 会費の件が議題に登り、それは議題
 として、ヒリあげました。現在の700円は
 は安すぎる(?) という意見や余裕を持って
 運営にあたる方が、よい活動が出来るという
 意見があり、会費は高くない方がいいが、現
 状では値上げしてよいとの意見が全員か
 ら出されました。金額の決定への提案

された額は 750円、1000円、1500円と
 ありましたか、賛成多数で、1000円と決定
 されました。50年度は700円のまま、51
 年度より1000円と致しますの?、宜しく
 お願ひしま (可なりと承認され、これに
 すと会計よりあいさつがあり) よって、実施
 しました。

以上、例会・総会の報告を終り村。(休本)

アンケート集計資料。(以前と同じように、集計資料を掲載しま
 す。それ以外の方の意見を参考に再度
 ご意見をいただけたら幸いです。)

	A			B			C				D				E		F			G							
	1	2	3	A1	A-2	A3	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	1	2	3	1	2	3	4	5	6		
1	0			1	と	6		0			1	0		0		0		0		0	0						
2	0			1	と	4		0			1								0		0						
3	0			1	と	2		0			1								0		0						
4	0			1	と	1		0					0					0									
5	0			1	と	2		0				0						0						0			
6	0			1	と	2													0								
7			0				6	0			1					0			0				0				
8			0				4	0				0				0		0			0	0	0				
9	0			1	と	2		0			1					0			0		0			0			
10		0			1	と	6		0			0				0		0			0	0	0				
11	0			1					0				0			0		0									
12		0			1	と	稽		0		1					0		0				0					
13		0			1	と	4		0		1					0		0									
14		0			1	と	稽									0		0									
15																		0						0			
16		0			1	と	2	0			1					0		0						0			
17			0				2	0			2					0		0			0			0			
18																0		0									
19																0		0					0				
20		0			1	と	1						0			0		0			0	0	0	0			
21			0				3	0			1					0		0			0						
22		0			2	と	1		0		1					0		0						0			
23		0			1	と	1		0		2					0		0			0						
24	0				2	と	2		0		1					0		0					0				
25		0			1	と	2		0			0				0		0			0	0	0				
26		0			1	と	2		0			0				0		0									
27	0				1				0		1					0		0				0					
28	0				1	と	1		0		1	0				0		0			0						
計	4	17	4	17	1	と	29	38	7	14	1	3	11	7	3	1	25	2	12	1	15	11	8	8	0	2	4

アンケートのHについて以下紹介します。番号は前頁の回答者番号と一致してあります。

1. かなり外出が制限されると予想されるので、機会が多ければ多い程、出席する可能性が多くなり得ると思います。その上、もともと趣味のことが知りたいので、出来ることならとんちなことでも協力したいと思います。
2. 趣味の天敵についての観察・記録をしたいのでテーマに取り入れてほしい。
3. 会員名簿の作成を望む。
4. 天敵といっても標本同定会が必要。観察会も同様。気軽に訪れる場があり、Fについて談話することも重要なことだと思ふ。談話会が気軽さが唯一の特色だと思ふ。
5. 定期的にいつでも決められた日・場所に行けば、参加出来る例会、談話会はもつべしだと思ふ。回数は1~2ヶ月に1回位。
8. 学生をはじめたばかりの人が何人いるかわかりませんが、そのような人のために見学会など開いたらいいかかてほしい。
9. Gの統一テーマは共同で行なえるものが理想なので、個人的なテーマはとりあげない方が可。例会その他、会の行事に参加できない会員も多いので、会誌以外の行事のために会の支出が増加することは望ましくない。その辺の兼ね合いを考慮して下さい。
10. イソウロウクモ科の存在なのを運営委員が大きな網を張るべくすれば、生きていけるものと思ふ。活発な運営をしてほしい。
11. この会には、会則があり、それに基づき正確に基づいて運営されているので、会として一人前であるといえる。しかし、諸行事については実力以上のことを求めているのではないかと。アンケート、C.D.Eについては会として行なうのではなく、会員が適当にその会を実施するのがよいと思ふ。その際、用具等類の調達とか、もしあまりにも盛んで計画が重なることが多くなるとなると、会の運営委で調整すればよい。もし、会の収入につながる行事なら場合によっては、(内容により)引き受けもよいのではないかと。F、Gについては全会員の実力がほぼそろったとすることで行なうのがよく、現在は実力をつけるための研修期ではないかと。KISHIDAIAを廃して研鑽修のための設備投資に会費を使用することを提案したい。
13. 例会が毎月1回開ければ(年に数回というよりは)、2ヶ月か3ヶ月に1回でも「Fとあつてあいていよう」にあえます。是非あいたいと思ふ。ただ、談話会、採集会などの日も毎月別の日だとして参加は少々無理にはりそうです。このような会が年間約4~5回で、その日は例会もかねてきた会になつてもらえたらいいのではないかと。
14. 意欲的な運営に敬服します。違ふので、どうしてもサボリがらにならざるが印刷物の届けられるのが唯一のたのみです。どうかいそ長くやって下さい。
15. 因縁をたよりに趣味を調べていますか、採集図しかありませんものなどもあり同定の自信がありません。昔のKISHIDAIAにある様な同定のポイントを再掲していただければ、助かるのではないかと。
16. Gの件について、なるべくなら1つのテーマに1つずつのグループにわけ、それぞれを同時進行という形で行なうのはどうかですか。
18. Gのどれかかなり手回がかかりそう？責任かおれませんか。かんたんな初見(かつかネクモの卵のう)などの報告くらいなら大丈夫と思ふ。
20. 統一テーマを無理に作る必要はないと思ふ。会員の意見が多すぎてから設定するのがよい。生活史の調査？の例？は統一テーマにはならない。みんなが同じFについて調べておきたいテーマを作った意味があると思ふ。

22. 初心者のために、中学校や高校の研究活動の紹介、援助などを考えられたらと思います。
24. 遠方のため、共同の仕事等が協力してやる方法以外にはなかなか参加できません。

以上ですが、回答して下さったのは28名、御回答もかなり少ないようです。原因は何でしょうか？未回答の亦、宜しくお戻願いたします。

アンケートを集計してみると全体の傾向は、わかります。運営委員としても、談話会の原則は、やはり、全員の見解の上に立て、その統意の實踐に努力しなければならぬと思っております。地方の方々、多忙な方、学生などは、多様な立場の諸の会員もかかっている会が、何かをしようとするには、大変なことと思ひますか、よろしくご協力下さい。No.11氏と、No.9氏、No.14氏との意見は、正反対の方向に向かひられます。どのように止揚するか、今後のテーマです。ご意見お寄せ下さい。

(集計責任者: 本)



(ベ
(ッ
(ト
(に
(命
(か
(け
(ま
(す)

英國のバートンオンザウォータ
ーに在り居居のジミン・ストーン
マンのベツトは、腰シモの「リ
ン」ニ要緊。一度かかると、脚
を痛め居居るとの痛の程も
甚だ、腰、骨れ居居し居居ス
ン。之は、目の中に入れて居
くなら居居の可居居好居居。『
の』ニ要緊の可居居好居居。『
だから居居注意居居して居居れば大
丈夫だ』と、居居居居居居居居居
居居居居居居居居居居居居居居

(10-IV-1175 朝日新聞 日刊・6面初) (S.M)



くもおとこ
立川市砂川町一八三の六
真藤とし(五歳)

(27-II-1472, 毎日新聞 日刊) (H.O)

会員消息：—

去る6月1日、植田重雄氏は、中野サンクラブにて、結婚式を挙げられました。新郎については紹介する必要はないことと思ひます。大変な頑張屋で、ハブも一目おくらいのツブガイです。新婦は同じクラブ(玉川大生物自然研)の後輩で、お互いの氣をこころは充分理解されていると居居。うらやましいクラブです。その他いろいろなことは情報不足なので、直接お問合せ下さい。

270 千葉県松戸市5香6宛
244-16
石井マンション 404号室

本通信を会員間の連絡に利用して下さい。2カ月に1回ほど、人々に少ない記事でも、発行したいと思ひます。郵便料金の都合のく限り、頑張りますので、情報入力の方も多くなつてほしいと思ひます。宜しく。

統一テーマのための一例

ナガコガネグモ (*Angiope bruennichi*) の造網位置

資料提供者: 栗原輝代子

調査日: 1975年6月11日, 1975年6月16日

調査場所: 農林省果樹試験場

結果: 調査方法は、網の中心(コシキ部)から垂直に測った高さです。

6月11日 高さ(個体数)

14cm (3), 16cm (1), 18cm (2), 19cm (1), 20cm (5), 21cm (1)
22cm (2), 24cm (4), 25cm (1), 26cm (1), 27cm (1), 29cm (3)
30cm (1), 32cm (1), 34cm (1), 35cm (1), 42cm (1).

6月16日

13cm (1), 14cm (1), 15cm (3), 16cm (3), 19cm (3), 20cm (10),
21cm (3), 22cm (5), 23cm (4), 24cm (4), 25cm (8), 27cm (3),
28cm (2), 29cm (2), 30cm (3), 31cm (2), 32cm (2), 33cm (4),
34cm (2), 35cm (3), 38cm (2), 39cm (2), 40cm (2), 43cm (1),
50cm (1), 55cm (1).

「5日の差です。いさゝか値に差のあるのに驚きました。生長するに従って高さも変化するかもしれませんが。その点今後検討する必要がありそうです。調査場所は果樹内の無整備のモモがある場所です。下草が60cmほど茂っているところで。面積としては、それほど広くありません。人がほとんど入らないところで。もちろん無散布。その内のいたるところにナガコガネグモの網が見つかります。6月11日の調査日のクモの頸胸部の幅は5個体も似たところ平均1.42mm, 16日のときには、1.5~2.0mmのものが平均となりそうです(かなり大きなものがありました)。両日の合計での平均の網の高さは、26.06cmとなりました」
(栗原輝代子)

これだけのことで、ものすごくしんどいことと思います。統一テーマ具体化のためにご協力下さった栗原氏へ、御礼申し上げます。(とはいえ、彼を運営委員のメンバーとしたネ)

統一テーマという活動の性質上、あまり複雑な内容にはしたくありませんが、以下のような点について注目しながら測り定するのはどうでしょうか。

ナガコガネグモの造網位置

方法: ① ナガコガネグモの網を見つける。② 網の中心から地面までの高さを測る(→記録)。③ クモの体長(頸胸部の幅)を測る(→記録)。

これ以外に気のついたことは何でも、できるだけ記録しておく(でなくていい)。例えば(イ) 垂直に測っては無理のあるような場合はどういつときか、なにかのいくような測り定値はどうか。(ロ) 網の大きさ、クモ軸とヨコ軸はそれぞれどのくらいか。(ハ) その場所にはもっと大きな網をはれる余裕があるか、ないか。(ニ) その網は垂直かあるいは斜めか、傾斜しているればどちらに傾いているか。(ホ) クモの背の方向は、開けてある方向に傾いているか否か(たとえば、道ならば、道に対してどうか)。(ヘ) クモの背の方向は、方位ではどちらか。

使用器具: 野帳、メジャー、垂直距離器を測るものさし(1mぐらいのもの、テバイダー(あれば便利)、磁石。

ナガコガネグモは、草間の低いところに内網を作り、垂直に1本のカクレ帯をつけ... という生態の説明はできますが、一度はもっと具体的に、どのくらいの高さのところに造網し、それが、どのような条件(生長、環境等)で変化するのがを調査するのは、大切なことと思います。ご意見お寄せ下さい、あるいは測定値でも結構です。

統一テーマのための例 — その2 —

円網の縦糸と横糸

資料提供者：新海栄一・松本誠治（一部は松本リカ）

カラフトオニヅモ：9テ30本，ヨコ22本，直径10cm。

オニヅモ（体長7mmカメ生）：9テ21本，ヨコ不明，直径22cm。

9テ糸は水平に横断して，上側（7モの後側）に8本，下側に11本，左右
それぞれ1本づつで計21本。（1975.6.21調べ）

ヤマオニヅモ（12mm幼生）：9テ26本，ヨコ36本，直径30cm， $1\frac{8}{11}$ と略記

9テ文字にカクレオビを作っていた。（1975.4.28，ハダ市宮下調べ）。

オニヅモ（2cm）： $1\frac{8}{12}$ （計22本），ヨコ30本，直径40cm，
（1975.5.27，ハダ市宮下）。

オニヅモ（12mm）：東京都小平市学園東町。

1975.4.29 $1\frac{7}{13}$ ，ヨコ26本，直径40cm，1.4m（高さ）

1975.5.1 $1\frac{6}{10}$ ，ヨコ23本，直径26cm，（前日20時頃の午後5時，造
網は雨より直後に行なわれたらしい）

1975.5.2 $1\frac{7}{14}$ ，ヨコ（上側^側27本，下側37本），1.4m（高さ），直径26cm

1975.5.3 $1\frac{7}{10}$ ，ヨコ18本，直径22cm。

1975.5.4 $1\frac{7}{12}$ ，ヨコ糸18本を張れる大マダ，直径23cm，（降雨のため足場糸を之周残して造網中止。

（以上5回の調査は同一個体）

この内容のヒントは古浜隆氏よりいただきました。氏も以前、調査したことがあろうです。これなども、横糸の間隔、縦糸の支糸の数などを一緒に調べると、種あるいは属などで特殊性がみられるかもしれません。

新しいことと、それはみんなマダやろうというのですから、大変なことです。これら2例は、どれも、自分の行きつけのフィールドで出来ることです。1人の資料より、多勢の資料の方が、よい結果が得ることを確信します。これらあるいは、その他のテーマでもいろいろとご意見おきかせ下さい。

「外国のの7モについての話題がありましたらお聞かせ下さい」との依頼がありましたか、何分にも、うといオなので、会員のみならずにも、万願いいたします。本号5頁にランチュウモペットにしているという記事を紹介しましたか。もう一つ、室石のショウウインドウの中に放して温習予防にしているとの記事もみました。いつれ紹介したいと願います。つぎに、British SpiderのⅢが全版されたそうです。輸入会社にでも問い合わせして下さい。また、ハ木沼先生が寄稿して下さい。No.39の中アも、少し外国の7モ学者のことが出ていました。参考になることと存じます。Homannが、眼の構造、歩脚の爪、染色体、~~等~~など、いろいろの特殊から、カニヅモに近い仲間、コモリヅモ~~等~~との系統が、近く、エビヅモに近い仲間は、アニヅモカニヅモとの縁が深いという結論を出しています。カニヅモとエビヅモの分類の問題は、昔からゴタゴタしていますが、どうやうか、染色体の結果は、どうも引用がおかしいようにみえます。（松本）

前ページのHomannの論文は、次のタイトルです。

Homann, H. (1975) Die Stellung der Thomisidae und der Philodromidae im System der Araneae (Chelicerata Arachnida). *Z. Morph. Tiere*, 80: 181-202.

1頁で紹介しましたLandの論文のもう一篇は次のタイトルです。

Land, M.F. (1969) Structure of the Retinae of the Principal Eyes of Jumping Spiders (Salticidae: Dendryphantinae) in Relation to Visual Optics. *J. Exp. Biol.*, 51: 443-470

下関名松栄氏が池原真雄氏との共著「沖縄の陸の動物」(1975)の中で、ケアシハエトリカ、ミナモトカ、中心に占居しているカを捕、て食することを、これもかなり再関的に捕食している由を、紹介されていまして、四国(高松知県)で、テニツツハエトリカ、コシロカネアモにとびついて捕えたことを、シラヒケツハエトリカ、~~キニメッキコミグモ~~キニメッキコミグモにとびついて、はじめは失敗したが、ついには成功して捕えたことを、そして、オアシハエトリカ、ジョウグクセの体長8mm程のカを捕えようとして、成功したか、たことを、同じ日に確認しました。確認者は高野伸二氏、新海栄一氏、小野辰嗣氏、そして本会の4名。大変興味のある習性(?)行動です。

アンケートに対するご意見、アンケートの回答、統一テーマの具体化、など、多くのご意見をありがとうございます。宜しくご協力下さい。

会員名簿の作成も希望される方がおられますので、近いうちに(今年中には)(外貨状にまにあうように)、作りたと思います。

総会にて、51年度より、会費を1000円にすることを決定いたしましたので、再び報告しますと共に、51年以降を前納の示には、追加請求をしなればなりませんか、ご了解下さい。

なお、例会時に、萱嶋先生より、例会費用として、ご寄付^{おん}ありました、また、新井進氏も、欠席をよぎなくされたにもかかわらず、多額なご寄付をいただきました。ここに明記して、感謝致します。

トリの方では、自然状態でみたりのことをライフ・バードというそうです。アモも、標本になったものでなく、また管紙におさまってしまったものでないアモを、ライフ・スパイダーといえます。会員のみなさんは、このライフ・スパイダーは、何種ぐらいいるでしょうか。そして、ライフ・スパイダーの存在を思い出せるでしょうか。野隈派と管紙派との差もでてくることでしょうか。

次回通信は9月中に出したいと思っています。

KISHIDAIAは次号で40号です。No.39程の原数は無理でも、原稿があれば、何とか全部をのせていと思えます。1年1回となつたKISHIDAIAですから有意義なものにすることを努めと思えます。皆様からの投稿をお待ちします。10月に原稿^{おん}送付(10大ニュースのみ別)今年中に発行したいものです。

東京蜘蛛談話会

本部: 191 日野市豊田1896
萱嶋 泉 示
phone: 0425-81-7128
事務局: 185 国分寺市本町1-6-6
新海栄一 示
phone: 0423-21-0289
編集局: 211 川崎市中原区小杉町1-540
小野辰嗣 示
phone: 044-722-2225

[談話会通信発行責任者: 本会 誠治]